スマート・テロワール協会地域活動支援事業参加申込書

|  |  |
| --- | --- |
|  |  |
| 申込者情報 | 区分 | ◯ 個人　　　● 団体　（どちらかを●に） |
| 団体名 | 夢見る茶畑 |
| 個人名 |  |
| 団体代表者名 | 上原美奈子 |
| 住所 | 島根県鹿足郡吉賀町沢田 |
| E-mail |  |
| 電話 |  |
| 活動地域 | 島根県鹿足郡吉賀町、他吉賀町には、日本一の清流に何度も認定されている高津川の水源があります。町中を流れる一級河川でありながら、その水質を保っているのは、そこに住む人々の丁寧で知的な暮らしがあるからと考えます。その生活スタイルは、早くから有機農業の村として知られるほど、個人の取り組みの集合で有機の村と呼ばれるまでになったものです。 |
| 活動概要 | その吉賀町には、今でも、自家用茶をつくる家庭が多くあります。庭先の茶を摘んで炒る釜炒り茶です。田植えを終えた後の、一般的には少し育ちすぎたと思える葉を炒って作ったお茶には、エピガロカテキンガレートがとても多く含まれており、年中農作業に明け暮れる人たちの健康を守ってくれています。しかし、現在、自家用茶を作る人は高齢化し、その生活スタイルの継承が難しくなってきています。過疎の町には若者自体がいません。私は、この町に移住して５年になります。１０名以上の方の記録を撮ってきました。まだまだ１００人はおられます。それぞれの家庭に、それぞれの方法があって、お茶の美味しさも幾通りもあります。お茶は飲む前に軽く炒りなおして、煮立ったお湯に一つまみ投じて火を止め、落ち着いたらいただきます。朝、薬缶いっぱいに作ったお茶を一日中みんなでガブガブと飲みます。冷めてきてもまたおいしいのです。しかし、急須で淹れると少し薄い感じがするかもしれません。いわゆるお茶の品評会に出せるお茶ではないかと思いますが、飲み方や飲む場面が大切なのです。なので、町を訪ねてくれる人には、お茶とともにその生活スタイルをまるごと紹介しています。そうして、この土地のお茶のファンも確実に増えてきました。そこで次には、一緒にお茶を作る人を呼び込みたいのです。日本一の清流の地域で、暑い最中に茅や笹を刈り採り積み重ね、自分の田畑の糠やそば殻を堆肥として利用し育てるお茶。そんなお茶づくりに自分も携わってみたいと思う人を探したいと思います。そうして、農家さんが今まで当たり前に積み重ねてきた丁寧な暮らしとその産物に興味を持ってくださる方がもっともっと増えて、町を訪ねてくれたり、手伝いに来てくれたり、移住してくれたりすることを望んでいます。 |
| 活動詳細 | 目指す姿 | お茶を通じて、お茶だけでなく循環型の知的で丁寧な農村の暮らしを志向する仲間が増え、何らかの方法で一緒に農作業が行え、少なくとも今ある茶畑が荒れるようなことが無いようにしたい。 |
| 達成時期 | ３年以内 |
| マイルストン | 首都圏に吉賀町のお茶のファンを増やす。 |
| 重点課題 | 東京から吉賀町への移動は時間も経費もかなりかかるので、ある程度、その負担が可能である人、つまり、真剣に自分でお茶作りに参画してみたいと考えるお茶好きに出会える場を事前に探す。 |
| 進捗状況 | 移住して３年目に考えていましたが、コロナで動けなかったので、そろそろ外に出て伝えて歩きたい。この間に、３人のお茶をつくる農家さんが亡くなってしまいました。お茶作りの様子を伝える事例は集まってきています。 |
| 協力者 | お茶仲間に、お茶好きが集まる場所の提案をもらうことはできますが、その他、農業の分野、移住の分野など、可能性の高い人にお茶の魅力を伝えられるよう、ご紹介いただきたいです。 |
| 総予算 | １，０００，０００円　出張費 |
| 支援希望形態 | ● 資金支援　● 助言支援　● 協業支援 |
| 支援希望額 | １，０００，０００円 |

* 活動詳細については複数行で入力されても構いません
* 活動内容の理解を深めるための資料がありましたら添付して下さい
* この申込書に記入のうえ、mail@smart-terroir.com 宛お送りください。